

平成 1 1 年度
原子力に関する技術的安全と
社会的安心等に関する調査
調査結果報告の概要・図表

平成 1 2 年 5 月
(財) 若狭湾エネルギー研究センター

世論調査の概要

以下の世論調査の結果に基づいて、検討した。

1) 内閣総理大臣官房広報室が行った世論調査

- (1) 原子力に関する世論調査、昭和62年8月(1987)
- (2) 原子力に関する世論調査、平成2年9月(1990)
- (3) エネルギーに関する世論調査、平成11年2月(1999)

以下、これらの調査を「国S62」、「国H2」、「国H11」等と略記する。

2) 社会経済生産性本部の調査

- (1) 第10回エネルギーに関する世論調査、平成9年3月(1997)
- (2) 第11回エネルギーに関する世論調査、平成10年3月(1998)
- (3) 第12回エネルギーに関する世論調査、平成11年3月(1999)

この調査は、通商産業省資源エネルギー庁からの委託事業として実施されたものである。

以下、これらの調査を「社経本部H9」、「社経本部H10」、「社経本部H11」等と略記する。

3) 若狭湾エネルギー研究センターの調査

- (1) 原子力エネルギー認識の地域特性、平成11年3月(1999)
- (2) 放射線利用の社会的受容性に関する調査、平成11年3月(1999)

この調査は、核燃料サイクル開発機構からの委託事業として実施されたものである。

以下、これらの調査を「エネ研H11」と略記する。

表1. 原子力発電の安全性(社経本部)

	安全・全体	安全・男性	安全・女性	安全でない・全体
昭和61年4月	チェルノブイリ原発事故			
平成2年2月	35.5	42.1	29.3	37.5
平成2年9月	37.4	46.4	29.7	36.1
平成3年2月	美浜2号炉蒸気発生器事故			
平成3年9月	40.3	46.6	34.7	34.7
平成4年12月	42.4	51.3	34	29.4
平成6年1月	51.3	57	44.3	39.8
平成6年11月	40.7	47.6	34.1	28.8
平成7年11月	36.7	44.4	29.9	34
平成7年12月	もんじゅナトリウム漏れ事故			
平成8年11月	38.4	48.3	28.6	34.6
平成9年3月	東海再処理工場事故			
平成9年11月	26.7	35.3	19	50.4
平成10年11月	32.7	42.9	22.7	43.1

表2 原子力発電の安全性（社経本部 H11）

	安全合計	どちらともいえない	安全ではない合計	わからない
平成11年全体	32.7	17.8	42.9	4.6
平成11年男性	43.1	15	37.3	2.5
平成11年女性	22.7	20.4	48.4	6.6

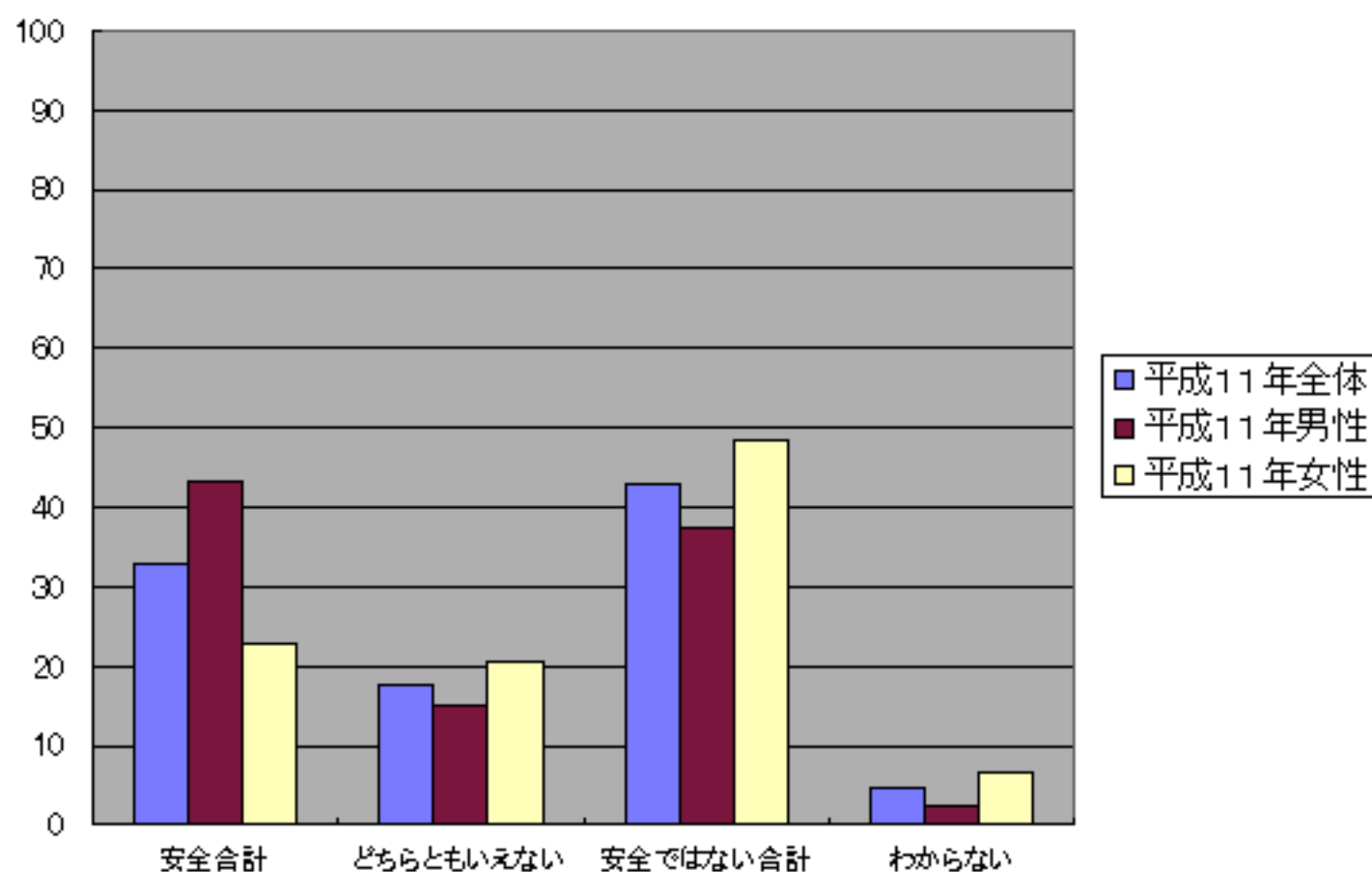


表3 原子力発電に対する安心感（国 H11）

	安心(合計)	不安(合計)	わからない
全 体	25.4	68.2	6.4
男 性	32.4	62.8	4.8
女 性	19.2	73	7.7

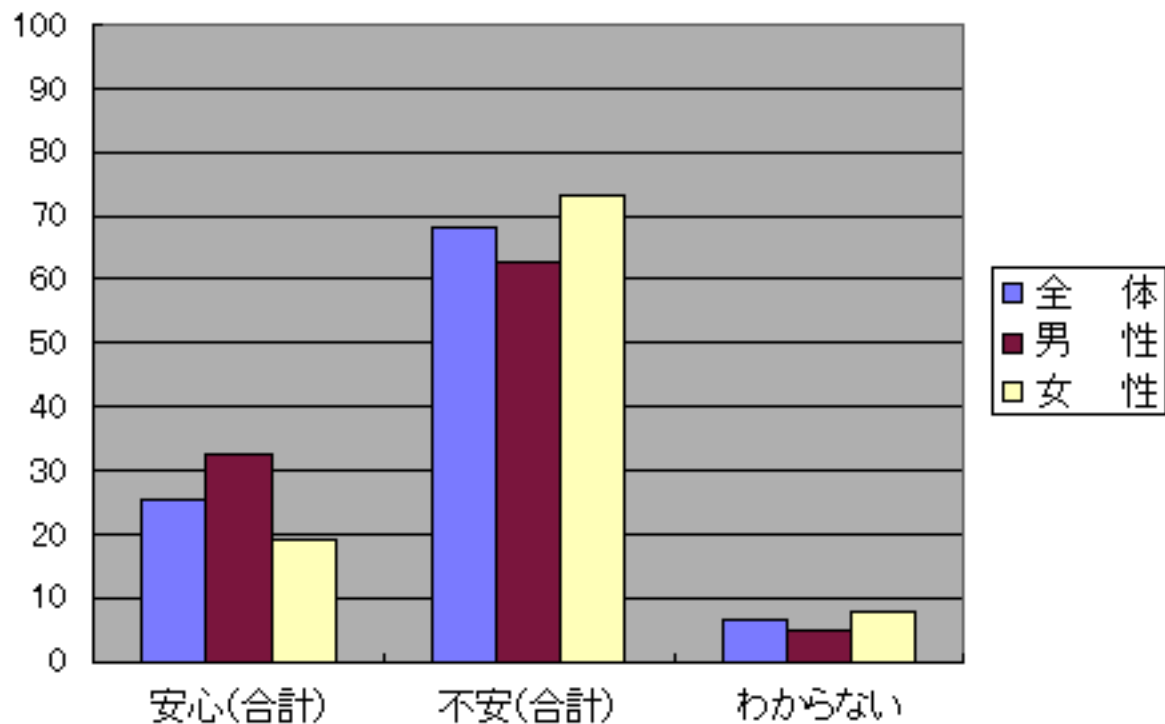


表4 原子力発電の推進－原子力発電の安全性（社経本部 H11）

	肯定的	現状維持	否定的	不明
全体	57	14.6	21.4	7
安全である	81.9	12.6	2.8	2.8
どちらともいえない	54.9	20.4	14.9	9.8
安全ではない	41.4	14.7	39.7	4.2

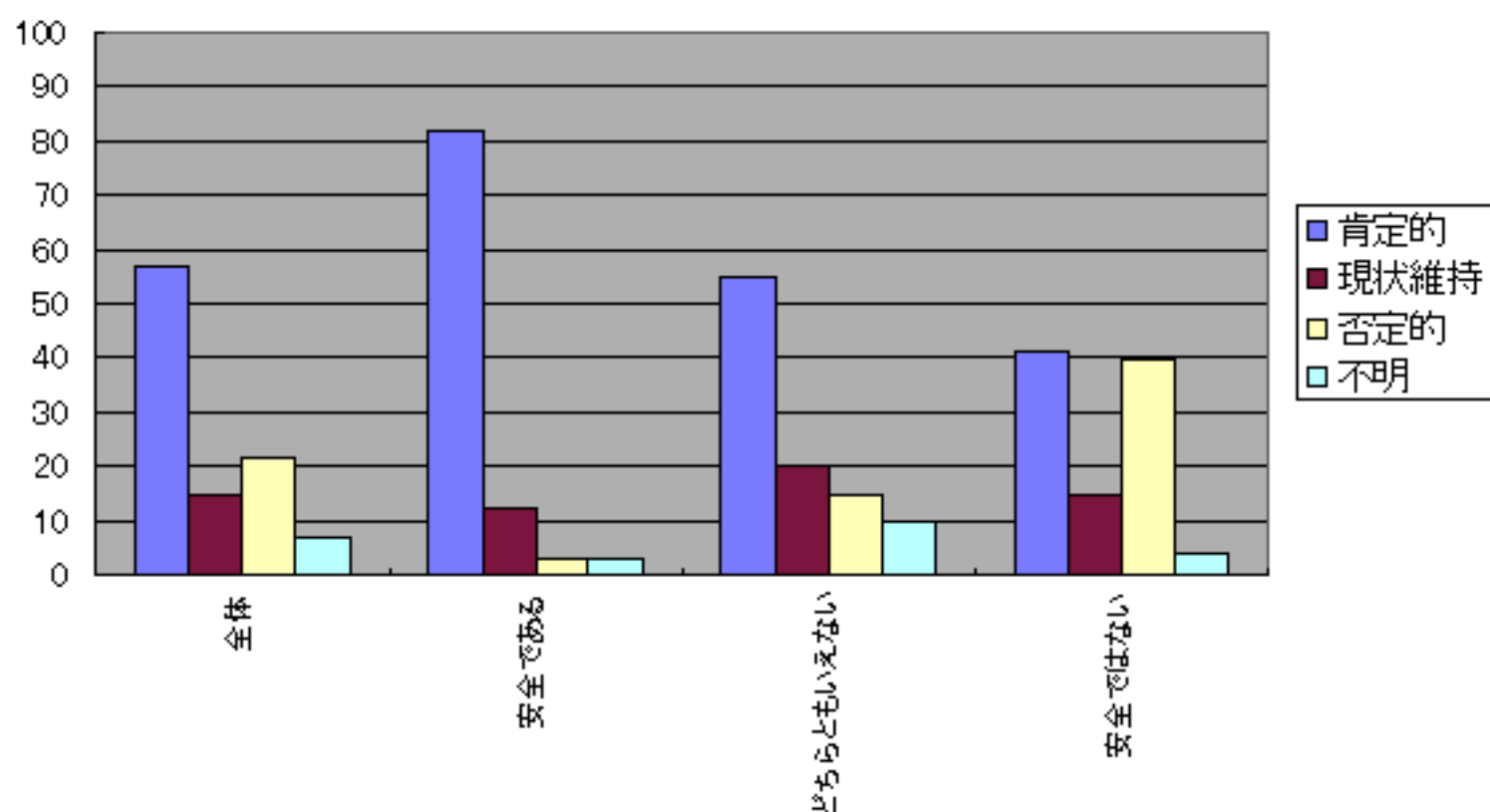


表5 原子力発電の推進－原子力発電の安心感（国H11）

	増設	現状維持	廃止	わからない
全体	42.7	27.2	21.5	8.7
安心	67.4	25.7	3.3	3.5
不安	35.7	27.0	30.0	7.4

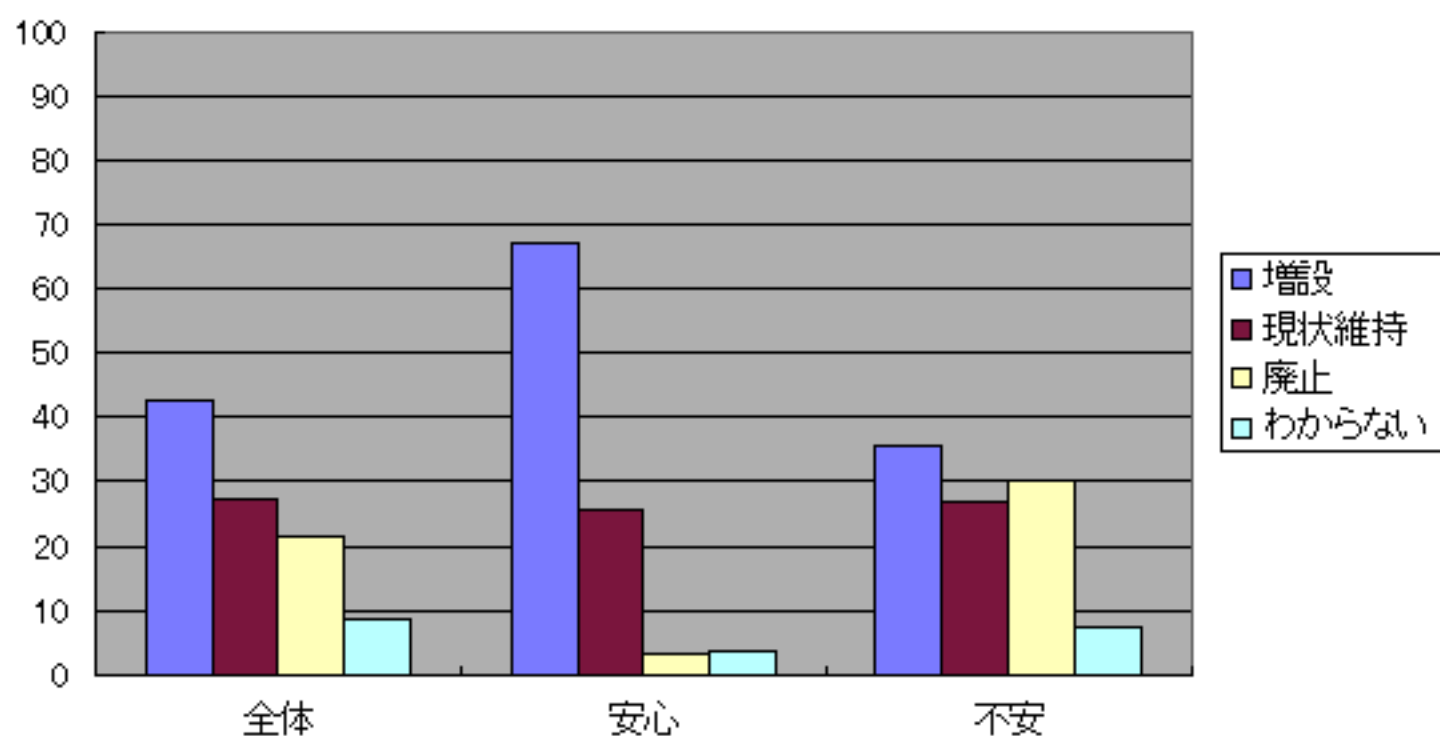
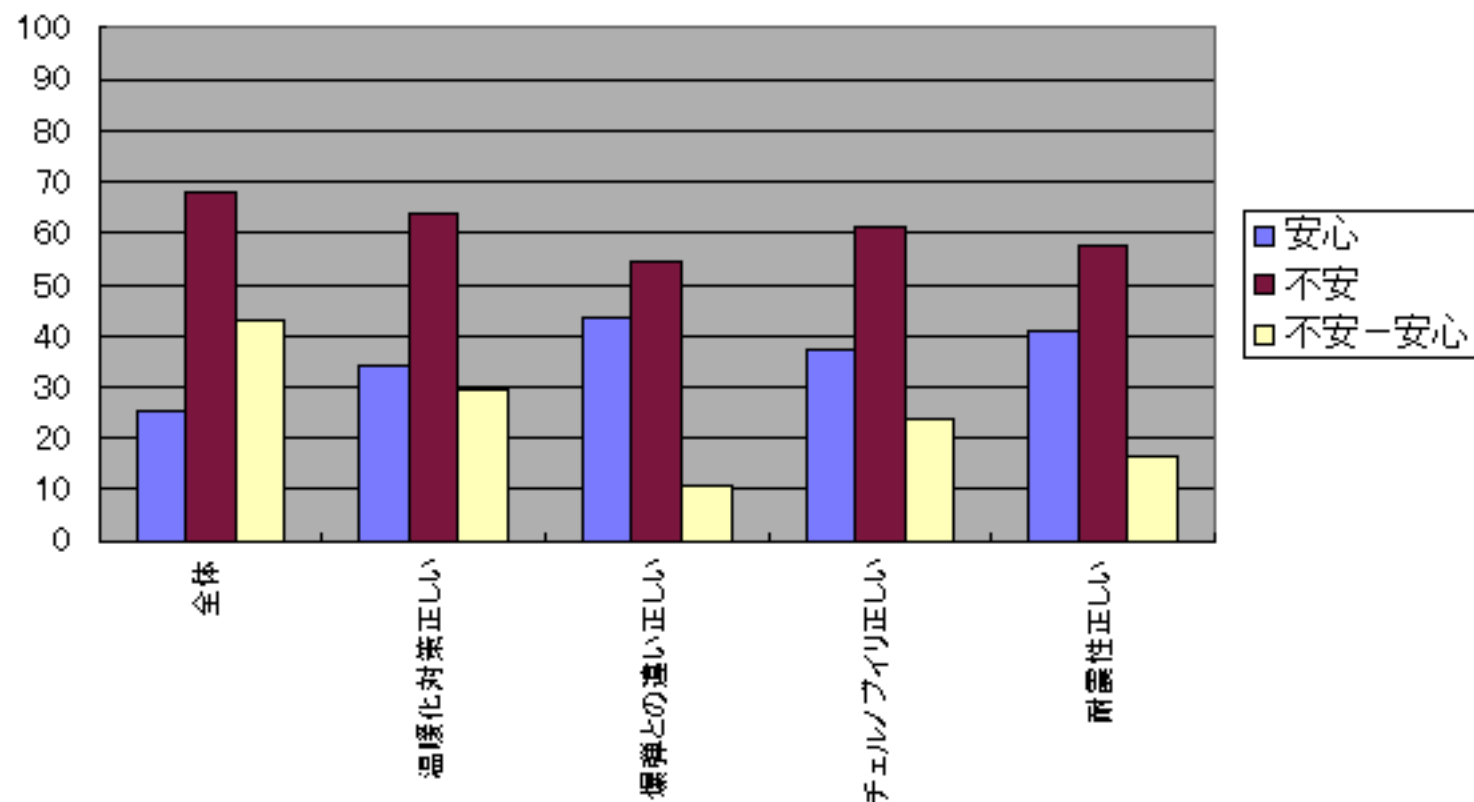


表6 原子力発電の安心感－原子力発電の特性の認識（国 H11）

	安心	不安	不安－安心
全体	25.4	68.2	42.8
温暖化対策正しい	34.2	63.7	29.5
爆弾との違い正しい	43.7	54.4	10.7
チェルノブイリ正しい	37.4	61.3	23.9
耐震性正しい	41.1	57.5	16.4



原子力発電の特性の認識 [特性を正しいとした人の割合] (国 H1 1)

	全体	男性	女性
温暖化対策正しい	26.2	36.7	16.8
爆弾との違い正しい	12.4	25.7	9.4
チェルノブイリ正しい	15.3	20.2	11.1
耐震性正しい	12.9	16.9	9.5

表7 原子力発電の安全性 - 原子力の知識を得たもの (国 H2)

	安全	非安全	安全-非安全
原子力施設見学	58.8	37.1	21.7
国の講習会	55.6	42.9	12.7
市民団体講習会	33	65	-32
学校の授業	53.2	42.3	10.9
テレビ・ラジオ	44.3	48.3	-4
新聞の記事	44.5	49.7	-5.2
雑誌・週刊誌	41.4	53.3	-11.9
家族・友人・知人	41.9	51.4	-9.5
政府広報、企業広告	56.6	39	17.6
国、自治体パンフ	49.5	46.1	3.4
電力会社パンフ	54.9	41.8	13.1
専門書等書籍	37.9	60.1	-22.2
特に知識を得てない	23.4	43.8	-20.4

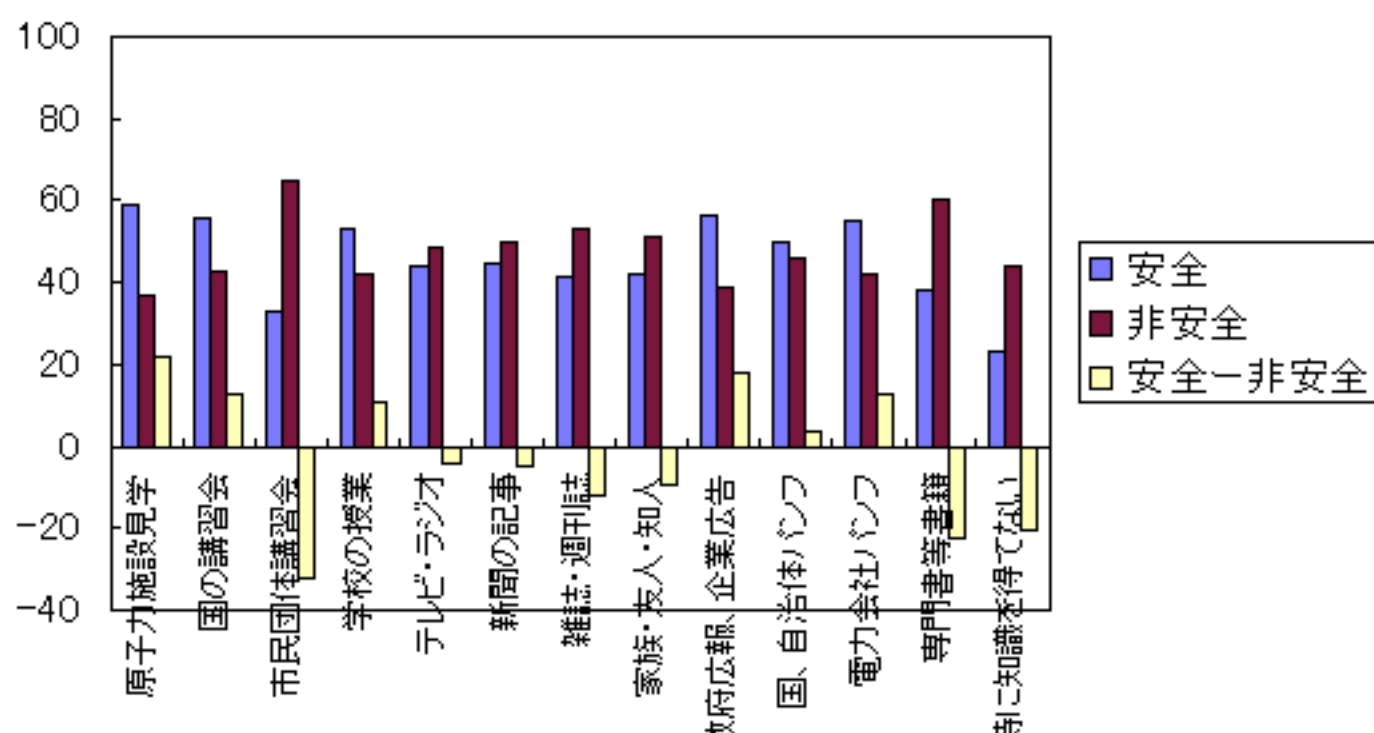


表8 原子力の知識を得たもの（複数回答）（国 H2）

	全体	男性	女性
原子力施設見学	7.8	10.4	5.8
国の講習会	3.5	5	2.4
市民団体講習会	2.7	2.7	2.6
学校の授業	5.4	6.7	4.1
テレビ・ラジオ	78.6	79.1	78.2
新聞の記事	63.9	69.1	59.7
雑誌・週刊誌	19.2	25.2	14.5
家族・友人・知人	7.9	5.6	9.7
政府広報、企業広告	7.3	9.1	5.8
国、自治体パンフ	5.4	6	5
電力会社パンフ	12.1	14.5	10.1
専門書等書籍	4.1	6.7	2
特に知識を得てない	7.3	4.5	9.5

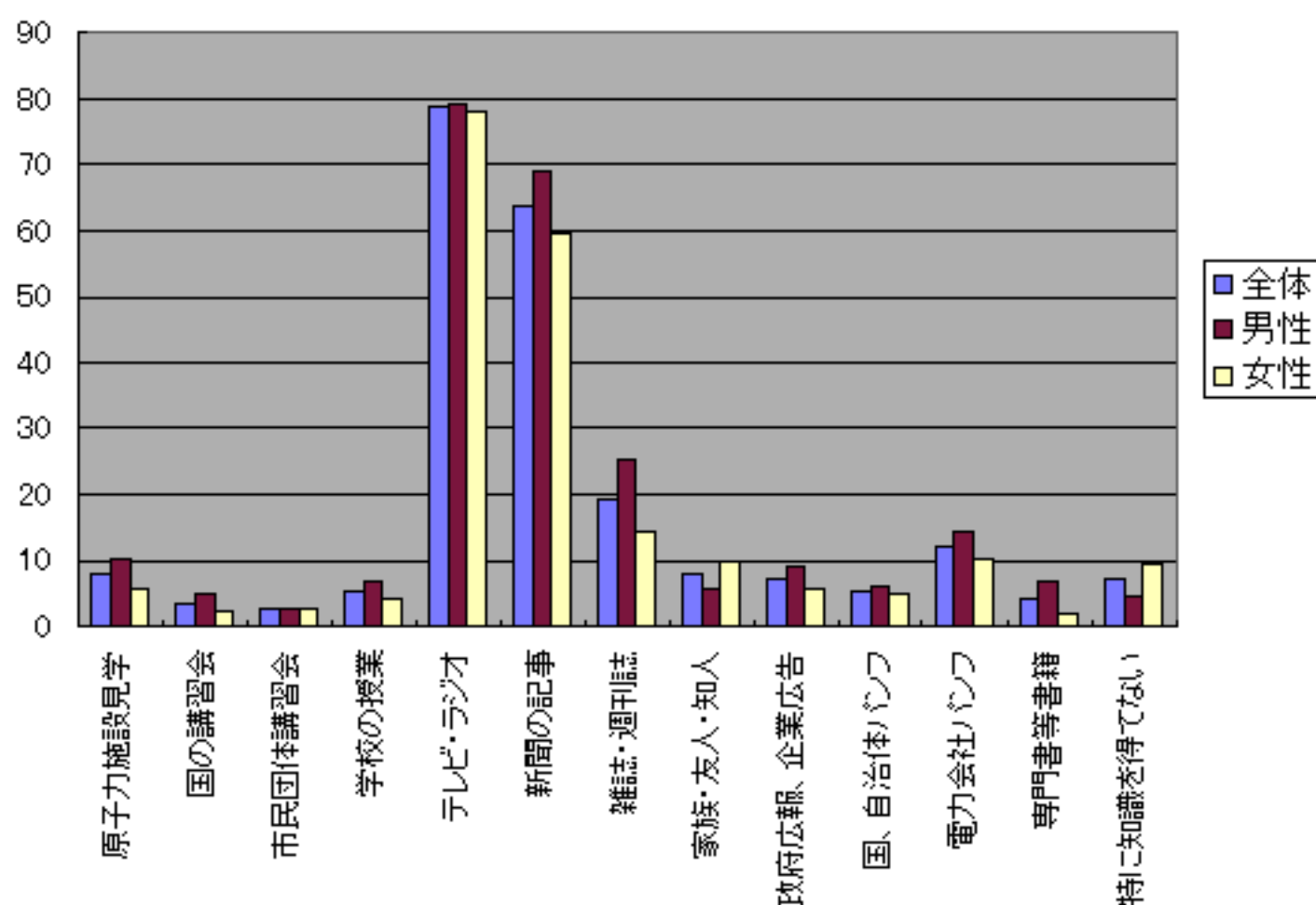


表9 原子力発電が安全でない理由（社経本部 H11）

	全 体	男 性	女 性
安全設計不十分	11.3	13.4	9.7
運転管理が不十分	16.4	20.8	13.1
国の監督が不十分	13.5	15.5	12.1
海外で事故あり	15.5	13.4	17.1

表 10 原子力発電が不安と思う理由（国 H11）

	全 体	男 性	女 性
事故の可能性	69.8	69	70.4
情報公開不足	49.2	51	47.8
虚偽報告等	43.4	49.2	39
海外の事故	41.5	40.3	42.5
事故の報道	35.3	30.4	39.1
その他	1.2	2.1	0.6
わからない	0.6	0.2	0.8

表 11 原子力発電に関する意見 - 一般／専門家（エネ研 H11）

原子力発電の推進		賛成	反対	その他
	一般	31.7	28.8	39
	専門家	88.6	2	9.1

利便性		高い	低い	どちらともいえない
	一般	68.2	4	27
	専門家	94.9	2.6	2

危険性		高い	低い	どちらともいえない
	一般	84.5	4.2	10.8
	専門家	38.6	48.6	12.6

危険性の解明度		解明	解明されず	どちらともいえない
	一般	43.5	29.8	26.2
	専門家	89.2	5.7	4.9

死傷事故の起きる確率		高い	低い	どちらともいえない
	一般	66.5	12.7	20.3
	専門家	12.8	78.5	2

1回の事故での死亡者数		多い	少ない	どちらともいえない
	一般	86.1	5.2	8
	専門家	42.3	48.3	8.3

日本国内の一年間の死亡者数		多い	少ない	(非常に少ない)	どちらともいえない
	一般	24.9	53.2	20	20.3
	専門家	1.5	96.5	84	2

危険性に対する恐怖心		怖い	恐くない	どちらともいえない
	一般	78.8	8.4	12.5
	専門家	17.4	70.6	11.4

福井県の30年間に渡る原子力発電所周辺環境モニタリングの結果

